

和の意匠と暮らす

パカラのガラスと蒔絵のお皿の調和を楽しむように、美しい和の意匠を日常に感じながら暮らすためのマンションリノベ。

リノベーション



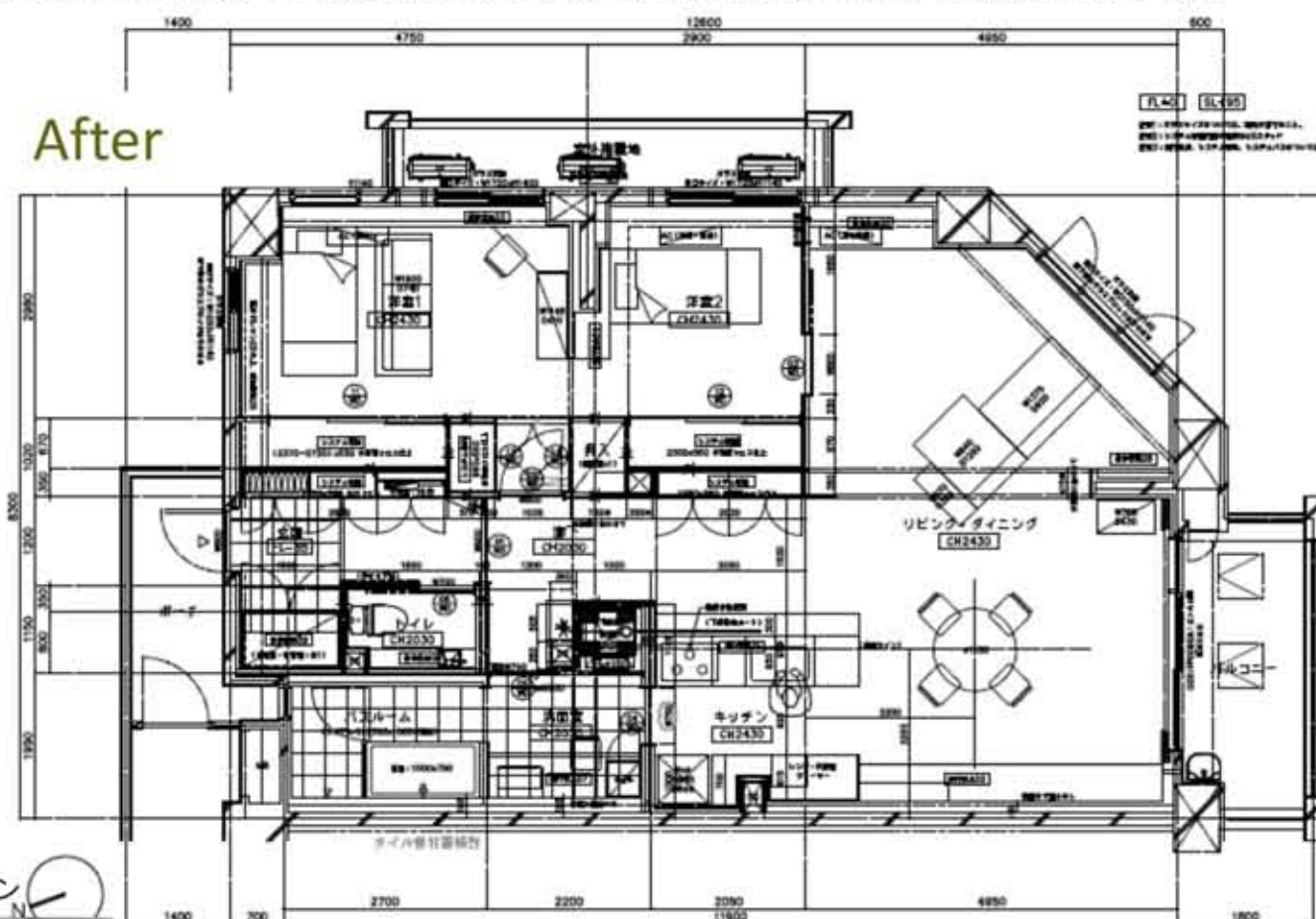
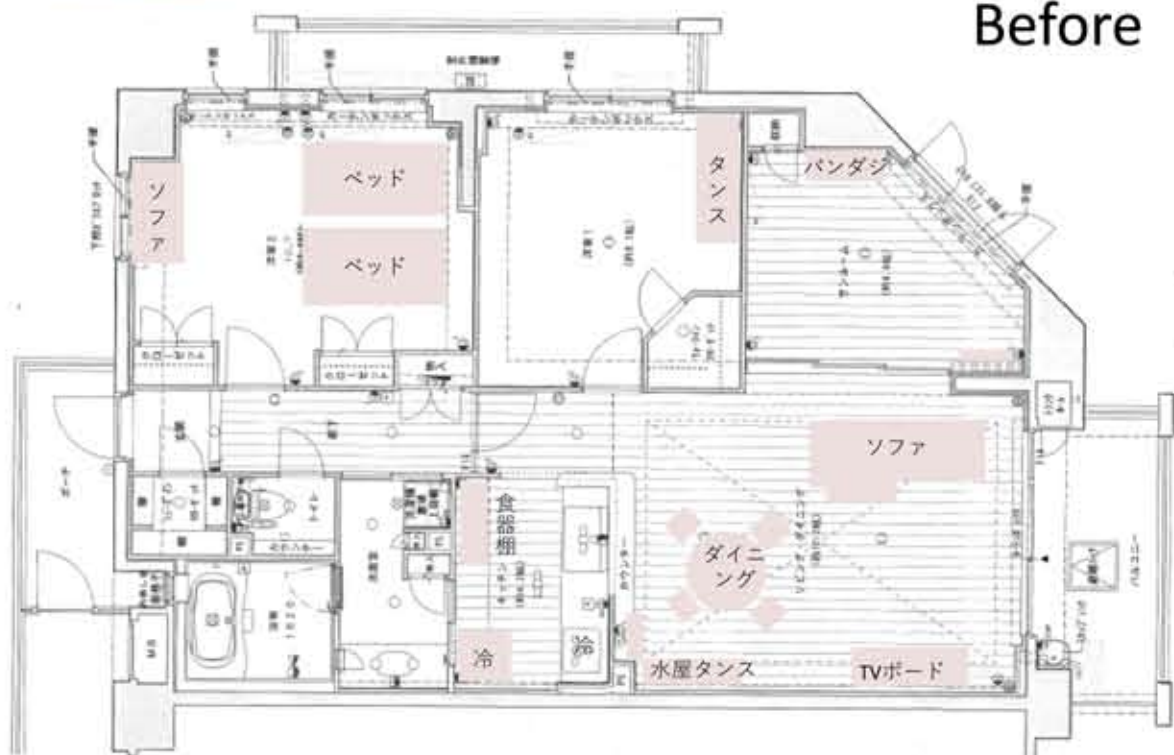
■施主要望：ご夫婦共通の要望は、華美でなく質感の良い、上質な暮らしがおくれる空間。生活感の排除されたインテリア重視のリノベーション。リビングダイニングにも寝室にも、適材適所な収納を設え、美しいインテリアが映えるようにしてほしい。また、使いようのないサンルームと洋室を有効活用してほしい。ご主人のこだわりはお風呂。ユニットバスの質感がどうしても受け入れがたい。奥様のご要望は、キッチンと、リビングダイニングとのデザインの調和を大切にすること。キッチンも使っていない時には生活感なく、スッキリしておきたい。

■リノベーションの解説

50代の仕事が忙しいご夫婦が、今後の30年を快適に暮らすためにマンションのフルリノベを決意。リフォームの最終的な満足度は、インテリアにかかっていると私は感じている。お手持ちの水屋箆笥や、李朝家具、和食器などから、潜在的に「和の趣」がお好みと推察。キッチンのデザイン、建具の色柄にも、伝統的な和の意匠をさりげなくマンションに取り入れ、床や壁の部材との調和を計画。日本人の日常から遠のいてしまった美しい襖の引き手や、襖紙の美しさを、マンションであっても、楽しんでいただけるようにしつらえた。そして、重要なのは、アートやクッション、小物のスタイリング。それらにより「和の趣」の完成度が高まり、現代的な暮らしにマッチする空間となる。そのために、玄関やリビング、それぞれの寝室に壁面収納をオーダーして、収納ストレスを解消し、生活感を排除した。また、精神面でのくつろぎを得られるよう心がけた。照明は、スタンドをメインに「人に寄り添う配灯」と、「重心の低い配灯」。直接肌が触れるものには天然素材を提案し、さわった感覚が気持ちよいものを選定。ご主人のお風呂のこだわりにも応えるべく、セミオーダーのユニットバスをオーダーし、タイル張りとした。海外のホテルのようにドライバス方式を取り入れ、シャワーブースを独立させた。洗面との統一感と透明ガラスにより、広く明るい水回りが完成した。控えめながらも、個性的な、日本の暮らしに似合う家になった。施主は「毎日、早く家に帰りたい気持ちになった」と心境の変化を語ってくれた。

Before

After



□サンルーム

□リビング

□ダイニング

□キッチン



基本データ

- 横浜市 50代ご夫婦 □約100平米 □2017年12月完成 □築14年5階建マンションの4階
- 照明：ルミナベッラMETALARTE (メタルアルテ) のスタンド、mater (メーター) 「SHADE LIGHT PENDANT 60」 (シェイドライトペンダント) yamagiwa (ヤマギワ) 「MAYUHANA II」 louis po ulsen 「VL38 TABLE」 プラケットFLOS IC Light
- ファブリック：ジムトンプソン (マナ)、ピュアモリス (マナ)、フィスバ、フジエキスタイル他
- 家具：アルフレックス SONA、フリッツハンセン セブンチェア、シモンズベッド、
- その他造作家具：クレド □オーダーキッチン：クレド
- 床：IOC
- 襖紙・引き手：東京松屋、川島企画、かなぐや、ほか特注品